

くらしの目線で市政を変える

こんにちは 日本共産党 西野さち子です！

発行：2019年10月27日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目381 日本共産党伏見地区委員会 TEL:075(611)9135 FAX:075(602)911

オール与党の
悪政と対決

市長を変えて、いのち・暮らし守る京都市政を!!



「こんな京都にしたいなあ」市民の集いに参加しました

会場では、様々な地域の皆さんから、自分たちの地域で今何が起こっているのかと報告がありました。小学校跡地がホテルになり、避難所が公園の地下につくられる計画に、反対の声をあげ見直しになった元植柳小問題や市が130人の首切りをして、介護保険の申請を郵送にしてしまう問題など、今の市政がまち壊しや市民サービスの切り捨て、安全安心まで脅かしている実態が浮き彫りになりました。市長を変えるしかありません。

10月16日の夜、来年2月の市長選挙に向けての集会がみやこめっせで開催されました。会場には3200人の市民の参加がありました。

これまでの市長選挙と違い、今回は自分たちで候補者を推薦しようと、市民連合の皆さん方が何度も会議を重ねられたという事です。当初はここで市長候補が発表される予定でしたが、残念ながら発表には至らなかったようです。

議員日誌

観光地ごみ被害を視察

東山民主商工会の会員さんから「観光客が自宅の敷地内や駐車場にごみを捨てて困る」との苦情が寄せられました。

西野さち子市議は、共産党の文化環境委員や東山民商の事務局の方とともに視察をしました。八坂の塔が正面に見える八坂通りと清水道周辺を視察しましたが、平日にもかかわらず観光客が多いことに驚きました。また、食べ歩きが多くごみ箱はすぐにいっぱいになり、ごみが散乱するので、しかたなく撤去されているとのことです。

近所のお寺も訪問して事情をお聞きしました。「勝手に境内に入ってきたり、お堂の畳に土足で勝手に上がり込んだり、驚くことに人糞もあって困っている」との事です。緊急に観光都市にふさわしい「ごみ対策」が必要です。



市営住宅の「共益費徴収」「保証人」見直しを表明

議会レポート
17日、18日に行われた市長総括質疑の中で、与党の質問に対して「市営住宅の自治会が高齢化で、共益費の徴収が困難になっているところが出てきている。システムの改修が完了したので、要望があり共益費が高くなることの了承が得られれば、来年4月から家賃と一緒に徴収する」また「保証人について国の公営住宅法の改正によって、保証人を求める方向をすすめる」旨の答弁がありました。

どれも日本共産党がこれまで何度も求めてきたことです。ただ、共益費の金額設定が問題です。根拠をきっちりと示し、納得のいく金額でなければ入居者の負担が大変です。自分たちでできないのなら値上げしても仕方がないでは済ません。納得のいくまで話し合いすべきです。



気候市民サミット2019に参加しました

「パリ協定スタート！脱炭素の未来へ」と題して、10月19日と20日に龍谷大学で気候サミットが開かれ西野市議は19日に参加をしました。国連環境計画・金融イニシアティブ特別顧問の末吉竹二郎さん、国立環境研究所地球環境研究センター副センター長の江守正多さん、気候ネットワーク東京事務所長の桜井貴子さんの専門家から「気候の危機」の現状や「世界の金融は化石燃料から手を引き始めている」「他国では国のリーダーが脱酸素に旗を振っているが日本は逆」等のお話がありました。

